

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社栄電子 上場取引所 JQ
 コード番号 7567 URL <http://www.sakae-denshi.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 隆志
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)菊池 隆之 TEL (03)6385-7240
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,510	100.9	59	-	62	-	31	-
22年3月期第1四半期	751	△51.8	△23	-	△23	-	△12	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	6 13	-
22年3月期第1四半期	△2 54	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	6,671	2,749	41.2	541 01
22年3月期	6,432	2,738	42.6	538 71

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,749百万円 22年3月期 2,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	0 00	-	0 00	0 00
23年3月期	-				
23年3月期(予想)		0 00	-	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,090	84.5	121	-	117	-	61	-	-
通期	6,607	60.7	269	122.3	263	139.1	162	149.2	31 87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は[添付資料]4 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,090,000株	22年3月期	5,090,000株
23年3月期1Q	7,120株	22年3月期	7,120株
23年3月期1Q	5,082,880株	22年3月期1Q	5,082,880株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注意事項）

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]3 ページ（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国需要に支えられ、企業収益が改善に向かうなど、緩やかながら着実に景気の持ち直しを見せる一方、欧州諸国の財政危機に端を発した信用不安により、円高・株安などによる経済的マイナス要因も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

その中で当社グループの主力市場である半導体製造装置関連分野におきましては、海外の需要に加え、国内における設備投資意欲も改善してきたことから、受注動向は引き続き好調な水準が続いております。

当社グループにおきましては、社内外の環境改善に注力しながら、取り巻く環境の変化に対応するため、従来の商品構成に加え、「エコ」をキーワードにしたLED照明関連・リチウムイオン電池・太陽光発電など省エネルギー産業分野の新市場への拡販活動に注力しており、当社グループの強みであります主力の電源装置に加え、新商品の受注が増加傾向にあります。

これにより当社グループの受注高、売上高とも対前年同四半期連結会計期間に比べそれぞれ92.1%増、100.9%増と大幅に上回ることとなりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の連結業績は売上高1,510百万円、営業利益59百万円、経常利益62百万円、四半期純利益31百万円という結果になりました。

なお、前年同四半期連結会計期間と比較して、売上高は758百万円増加、営業利益は82百万円増加、経常利益は85百万円増加、四半期純利益は44百万円増加となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,671百万円と前連結会計年度末に比べ239百万円増加いたしました。流動資産は主に、受取手形及び売掛金、商品が増加したことから前連結会計年度末に比べ274百万円増加いたしました。固定資産は主として投資有価証券の減少により前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。

負債は、3,922百万円と前連結会計年度末に比べ228百万円増加いたしました。主に支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ242百万円増加したことによるものです。

純資産は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ11百万円増加し2,749百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、1,105百万円（前年同四半期連結会計期間末比34百万円減少）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は265百万円(前年同四半期連結会計期間は86百万円の支出)となりました。これは主要因として仕入債務の増加242百万円、売上債権の増加469百万円、たな卸資産の増加104百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は3百万円(前年同四半期連結会計期間は3百万円の収入)となりました。これは主要因として、保険積立金の積立による支出3百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に結果支出した資金は48百万円(前年同四半期連結会計期間は19百万円の支出)となりました。これは主要因として短期借入金の返済による支出30百万円、長期借入金の返済による支出15百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、現時点において、平成22年5月17日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸資産の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当四半期連結会計期間における負担分を計上しております。

(追加情報)

従来、従業員に対する賞与の未払額については、流動負債その他(未払費用)に含めて表示しておりましたが、賞与支給額の決定方法の見直しを行った結果、四半期連結財務諸表作成時において賞与支給額の確定が困難となったことから、当第1四半期連結会計期間より、賞与引当金として表示しております。

なお、前連結会計年度において、従業員の賞与の未払金額はありません。

② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,405,561	1,723,586
受取手形及び売掛金	1,731,192	1,261,323
商品	379,122	274,971
繰延税金資産	332,392	322,723
その他	21,944	13,747
貸倒引当金	△2,817	△3,930
流動資産合計	3,867,396	3,592,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	734,247	743,460
土地	1,170,924	1,170,924
その他(純額)	17,002	18,172
有形固定資産合計	1,922,173	1,932,557
無形固定資産	114,563	115,499
投資その他の資産		
投資有価証券	265,274	292,559
保険積立金	460,484	457,161
その他	74,182	73,752
貸倒引当金	△32,093	△31,903
投資その他の資産合計	767,848	791,569
固定資産合計	2,804,584	2,839,625
資産合計	6,671,981	6,432,047
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,504,858	1,262,338
短期借入金	980,000	1,010,000
1年内返済予定の長期借入金	96,000	96,000
リース債務	2,394	2,385
賞与引当金	12,348	—
未払金	799,698	797,051
未払法人税等	16,474	13,836
その他	53,087	51,157
流動負債合計	3,464,862	3,232,768
固定負債		
長期借入金	290,000	305,000
リース債務	7,836	8,439
退職給付引当金	19,561	20,448
長期未払金	116,448	119,624

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
長期預り保証金	282	282
繰延税金負債	23,109	7,301
固定負債合計	457,238	461,096
負債合計	3,922,101	3,693,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,859,830	1,828,669
自己株式	△3,587	△3,587
株主資本合計	2,728,743	2,697,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,299	44,925
繰延ヘッジ損益	△4,162	△4,324
評価・換算差額等合計	21,136	40,600
純資産合計	2,749,880	2,738,182
負債純資産合計	6,671,981	6,432,047

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	751,638	1,510,180
売上原価	606,784	1,231,478
売上総利益	144,854	278,702
販売費及び一般管理費	168,392	219,664
営業利益又は営業損失(△)	△23,537	59,037
営業外収益		
受取利息	457	373
受取配当金	2,578	3,330
不動産賃貸料	1,135	940
その他	3,426	4,961
営業外収益合計	7,598	9,606
営業外費用		
支払利息	6,810	5,909
不動産賃貸費用	642	617
その他	15	37
営業外費用合計	7,467	6,564
経常利益又は経常損失(△)	△23,406	62,078
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,299	922
特別利益合計	3,299	922
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,107	63,001
法人税、住民税及び事業税	1,290	15,788
法人税等調整額	△8,462	16,051
法人税等合計	△7,171	31,839
少数株主損益調整前四半期純利益	—	31,161
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,935	31,161

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,107	63,001
減価償却費	11,896	11,319
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,526	△922
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,281	△887
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	12,348
受取利息及び受取配当金	△3,036	△3,704
支払利息	6,810	5,909
売上債権の増減額(△は増加)	41,524	△469,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,019	△104,151
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,545	242,520
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,520	△16,323
その他の流動資産の増減額(△は増加)	33,273	△8,646
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△21,474	19,680
その他	4,242	△2,430
小計	△78,685	△252,154
利息及び配当金の受取額	2,587	3,330
利息の支払額	△5,535	△4,960
法人税等の支払額	△5,142	△11,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,775	△265,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△218	△124
保険積立金の積立による支出	△3,323	△3,323
差入保証金の回収による収入	6,706	—
長期貸付金の回収による収入	90	—
その他	10	△240
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,264	△3,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
長期借入金の返済による支出	△16,248	△15,000
リース債務の返済による支出	—	△592
配当金の支払額	△82	—
その他	△3,175	△3,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,506	△48,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△103,017	△318,024
現金及び現金同等物の期首残高	1,243,072	1,423,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,140,054	1,105,561

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。